



週間情報



No.2848

発行日 平成28年12月13日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

消防本部の動き

行事

◆ 消防署を一般公開！「わくわく消防署・オープンファイヤー」を開催

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部西消防署では、平成28年11月12日（土）、消防署の見学や体験ができるイベント「わくわく消防署・オープンファイヤー」を開催しました。

イベントでは、訓練用消火器での消火体験やAEDの使用体験、ロープ渡り体験、ミニ消防車の試乗、天ぷら油の燃焼実験やごみ収集車火災実験装置を使用した実演など多数のコーナーを設けました。また、今回は消防職団員のOBで結成された宝塚市消防サポート隊に一部のコーナーを担当していただきました。イベントの最後には、救助隊が訓練を披露し、会場は大きく盛り上がりました。

当日は約1,500名の来場があり、体験を通じ「消防」に関して広く理解を深めていただき、防火防災意識の高揚につながったと実感しました。



【イベントの様子】

◆ 管内量販店で「三世代防火広報」を実施

南越消防組合消防本部（福井）

南越消防組合消防本部では、平成28年11月13日（日）、越前市内の量販店において、当組合初めての取り組みとして「三世代防火広報」を行いました。

越前市少年消防クラブ、越前市消防団式部さくら分団（女性消防団員）、平成の会（消防団OB）と消防職員が世代を超えて協力し防火広報を行うことで、多くの市民の方々が防火の話に耳を傾けていただくことができ、効果的に防火防災意識の向上を図ることができました。



【活動の様子】

◆ 幼年消防クラブ大会を開催

南さつま市消防本部では、平成28年11月15日(火)、南さつま市加世田ドームにおいて、平成28年幼年消防クラブ大会を開催しました。

当日は、市内保育園、幼稚園に通う園児214人の幼年消防クラブ員が集まり、幼年期の防火・防災教育を目的とし、ミニ消防隊出動ゲーム、綱引き、大声コンテストなどのレクリエーションを行いました。

この大会では、クラブ員の交流を深めるとともに、火の用心への意識の向上を図ることができました。

南さつま市消防本部（鹿児島）



【大会の様子】

◆ 消防・防災フェスタを開催

都城市消防局では、平成28年11月20日(日)、イオンモール都城駅前において、消防・防災フェスタ「みんなで体験・みんなの安心」を開催しました。

当日は、消防職員による防火寸劇や非常食のローリングストック法等の実演、宮崎県歯科衛生士会会長による災害時のお口のケア・お口の体操のステージ講演を行いました。

多く子ども達は、スタンプラリー形式で防火・防災ブースを体験し、災害から自分を守る方法を学ぶことができました。

都城市消防局（宮崎）



【ローリングストック法実演の様子】



【屋外展示の様子】

◆ 消防フェスティバル2016を開催

富士宮市消防本部では、平成28年11月20日(日)、市民と消防との触れ合いの場を持つことによる防火思想の啓発を目的とし、第28代ミス・富士山グランプリの渡邊有美さんを一日消防長に任命し、消防フェスティバル2016を開催しました。

当日は、晴天に恵まれ、多数の来場をいただき、式典並びに防火ポスターの表彰、関係各団体の演技・演奏が催されました。そのほかにも、はしご車乗車体験、ちびっこレスキュー体験、煙体験ハウス、起震車体験、ミニ消防車試乗など多数のブースを設置し、子どもだけでなく大人にも楽しんでいただけたイベントとなりました。

富士宮市消防本部（静岡）



【フェスティバルの様子】

◆ 平成28年度三市合同総合防災フェアを開催

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部（大阪）

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部では、平成28年11月23日（水、祝）、大和川右岸河川敷内において、柏原市、羽曳野市、藤井寺市と共催で平成28年度三市合同総合防災フェアを開催し、約5,500人の家族連れなどで賑わいました。

会場では、レスキュー体験、消防車の乗車、放水体験及び起震車による地震体験などを行い、レスキュー体験をした小学生は「難しかったけど、とても楽しかった。」と目を輝かせていました。

フェアの終盤には、地域住民、地元企業、三市消防団、自衛隊、警察、消防及び大阪府ドクターヘリが参加し、巨大地震を想定した救出、消火訓練が行われ、多くの市民が見学に訪れました。



【フェアの様子】

◆ 「あなたの命と暮らしを守る防災劇」を初披露

大阪狭山市消防本部（大阪）

大阪狭山市消防本部では、平成28年11月26日（土）、大阪狭山市商工会などが主催する「産業まつり」において、大阪狭山市消防団女性分団と協力し、防災劇を初披露しました。

当日は、「あなたの命と暮らしを守る防災劇」として、ギターとダンス、笑いを交え、住宅火災の原因となってしまう3つの習慣を、楽しく、面白く、わかりやすく伝え、「大切な命と穏やかな暮らしを守るため、防災の心を持ち、備えを始めましょう！」と訴えました。

当女性分団は、現在9名が在籍し、平成25年に発足以来、市総合防災訓練や消防出初式、防火街頭キャンペーンなどに積極的に参加し、さまざまな活動を行っています。

今後も市民の安全・安心を守るため、さまざまな活動を展開していきます。



【防災劇の様子】

訓練・演習

◆ 旅客船事故対応訓練を実施

常滑市消防本部（愛知）

常滑市消防本部では、平成28年11月14日（月）、第四管区海上保安本部、愛知県防災航空隊、日本赤十字社愛知県支部、愛知県水難救済会、中部小型船舶安全協会、津エアポートライン（株）と合同で、市沖合において「旅客船が海上漂流物と衝突し航行不能。多数の負傷者あり。」の想定で、旅客船事故対応訓練を実施しました。

訓練は、消防隊員が海上保安庁巡視艇で海難現場へ急行、船上トリアージや応急処置を実施しました。その後、負傷者を愛知県防災ヘリ、海上保安庁巡視艇、民間救助船で搬送しました。陸上では、消防本部及び日本赤十字社救護班により応急救護所が設けられ、救出された負傷者の処置及び搬送訓練を実施しました。

この訓練により、海上で発生した多数傷病者対応要領の確認及び関係機関との連携強化を図ることができました。



【訓練の様子】

◆ 岩手県防災航空隊と合同で山岳救助訓練を実施

北上地区消防組合消防本部（岩手）

北上地区消防組合消防本部では、平成28年11月16日（水）、岩手県防災航空隊と山岳救助合同訓練を実施しました。

山岳部で滑落事故が発生したとのブラインドによる訓練想定とし、救助隊により救出後ピックアップポイントに搬送し、航空隊がピックアップ救出するまでの実災害に近い訓練を実施しました。また、訓練終了後には岩手県防災ヘリコプターの機体更新に伴い、航空隊の隊員から新機体の諸元性能や特性について説明を受けました。

今回の訓練を通じ、山岳地帯の特性、情報伝達の重要性、防災ヘリの有用性と協力体制の重要性を認識することができ有意義な訓練となりました。



【訓練の様子】

◆ 3 消防本部合同訓練を実施

一関市消防本部（岩手）

一関市消防本部では、平成28年11月18日（金）、一関市内の花泉運動公園多目的競技場において、県境で隣接する宮城県栗原市消防本部及び登米市消防本部と合同で、訓練を実施しました。

この訓練は、大型バスが転落横転し多数の傷病者が発生したという想定で実施し、消防職員、病院関係者、警察官、医療福祉専門学校生の計122名が参加しました。

多数傷病者事故発生時の災害対応能力の向上、関係機関との連携強化、そして岩手・宮城県際における相互応援の実効性を図る目的から効果的な訓練になりました。



【訓練の様子】

◆ 湘南東部合同特殊災害対応訓練を実施

藤沢市消防局（神奈川）

藤沢市消防局では、平成28年11月21日（月）、東京2020オリンピック競技大会セーリング競技会場の周辺集客施設である湘南海岸公園サーフビレッジエリア周辺において、当市消防局・消防団、鎌倉市消防本部、茅ヶ崎市消防本部及び寒川町消防本部と合同で特殊災害対応訓練を実施しました。

訓練内容は、NBC災害活動中に隣接建物が爆破され、傷病者が増加するという想定で実施しました。本訓練には、消防隊等24隊104名、消防団2個分団10名及び要救助者等その他参加者58名、合計172名が参加しました。

東京2020大会に伴う訓練は、昨年度に引き続き2回目となり、今後も関係各機関と連携しながら計画的に訓練を実施して参ります。



【NBC災害対応の様子】



【爆破災害対応の様子】

研 修 等

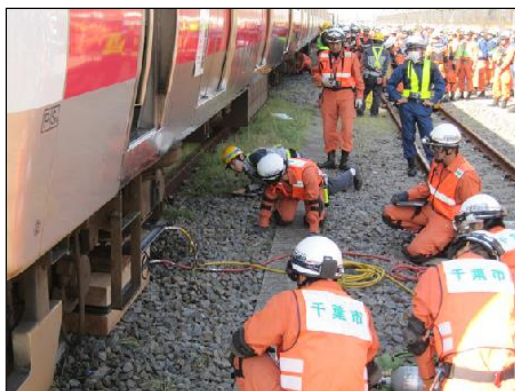
◆ 列車事故対応の救助技術勉強会を実施

千葉県消防長会（千葉）

千葉県消防長会では、平成28年11月17日（木）及び18日（金）、東日本旅客鉄道株式会社京葉車両センターにおいて、列車事故対応の救助技術勉強会を実施しました。

訓練では、県内から27消防本部228名が参加し、各消防本部の現有資機材である油圧ジャッキやエアージャッキ等の救助資機材を活用した設定や救助要領の確認等を行いました。

この訓練を通じて、現場の状況に応じた救助技術の向上を図るとともに、日頃の疑問点を解決するなど、今後の救助活動に活かす大変有意義な勉強会となりました。



【訓練の様子】

◆ 火災原因調査研修会を実施 ～ＴＶドラマのワンシーン？！火災調査と訴訟～

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、平成２８年１１月１８日（金）、火災原因調査報告書が実際の裁判においてどのように使われていくのかを知るために、ＴＶ等でも活躍されているレイ法律事務所 代表弁護士 佐藤大和氏と同事務所所属の弁護士４名を講師に招き、「火災調査と訴訟」と題した研修会を開催しました。

講義内容は、前半が法律家からみた“良い文書”の書き方のポイント、後半が証人として消防職員が裁判所に出廷し、実際に証人尋問を受けた場合を再現した“模擬裁判”としました。

本研修会を行うにあたり、半年以上前から講師と事務局の間で入念な打合せを行い、より効果的な研修となるように内容を精査したためか、研修参加者からは、「火災調査の重要性を再認識させられる内容で、非常に有意義な研修会だった。」との感想がありました。

火災調査業務への意識向上を図る上で、非常に有効な内容であると確信できたことから、次年度以降も引き続き同様の研修会を開催していきたいと考えています。



【研修会の様子】

◆ 鉄道災害時の安全対策研修会を実施

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、平成２８年１１月２１日（月）、北大阪急行電鉄株式会社車両課事務所において、鉄道災害時の安全対策研修会を実施しました。

この研修会は、平成１４年１１月６日にＪＲ西日本東海道本線で発生した救助活動中の消防隊員の人身事故を受けて、北大阪急行電鉄株式会社と軌道敷内における災害について、平成１６年２月に「鉄道事故時の安全対策に関する覚書」を締結し、事故発生時の通報体制や救助・救出活動時の安全管理体制を確立するために平成１７年度から実施しています。

今回で１２回目となる研修会では、豊中市消防局、吹田市消防本部、箕面市消防本部、北大阪急行電鉄株式会社及び阪急電鉄株式会社の職員計３６名が参加し、車両の構造や電気機器配置、災害発生時の通報連絡体制等の講義を受けるとともに、実車による車両説明や事故対策想定訓練を実施しました。事故対策想定訓練では、鉄道会社の職員と消防職員が連携し、迅速・的確に実災害さながらの救出訓練を実施しました。



【研修会の様子】

◆ 「救急用コミュニケーション支援ボード」を活用した英会話教養を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁麻布消防署では、平成28年11月21日（月）、当署防災教室において、平成28年度第6回英会話教養を実施しました。

今回の教養では、管内外国教育機関から2名の外国人講師を招き、東京消防庁救急指導課配布「救急用コミュニケーション支援ボード（平成28年度改訂版）」を活用しました。語学力に応じて支援ボードを活用することにより、現場で活用できる実践的な英語を学ぶことができました。

繁華街六本木を抱える消防署として、英語対応救急隊到着前のP A連携現場での外国人対応についても真摯に取り組み、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、外国人対応能力の向上を図り、安全・安心な街づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



【教養の様子】

そ の 他

◆ 無償による建設機械等の出動に関する協定を締結

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局都筑消防署では、平成28年11月9日（水）、災害防止対策連絡協議会・鶴見川水系と「建設機械等の出動に関する協定」を締結し、同協議会による人命救助に特化した重機救助隊が発足しました。

土砂災害や家屋の倒壊などで人命救助が必要となる災害現場では、油圧ショベルなどの建設機械を活用した一刻も早い救助活動が求められる反面、消防が装備している資機材では思うように救助活動が捗らない場合があります。

都筑消防署では、37社が加盟する同協議会に無償による重機の出動要請について打診したところ、同協議会側は「風水害時や震災時はまさに地域、事業所が行政と一体となって災害に対処すべきである。」と、共助の重要性に賛同され、スムーズに事が運びました。

両者の人命救助に対する熱い思いが実を結んだ結果であり、有事の際には重機救助隊と力を合わせて災害に立ち向かいます。



【協定締結式の様子】

◆ 応急手当普及員「認定証書」を交付

千曲坂城消防本部（長野）

千曲坂城消防本部では、平成28年11月11日（金）、18日（金）及び25日（金）の3日間、応急手当普及員講習を開催し、認定者へ認定証、ファースト・エイド・キットの授与ほか、「認定証書」も併せて交付しました。

この「認定証書」は、事業所、ホテルなどの受付、フロントなどに掲示することにより、利用者へ救護体制の確立をアピールする目的で交付しました。

今後、事業所のみならず地域の安心・安全を守る一員として、積極的な活躍が期待されます。



【講習会の様子】



【掲示用「認定証書」】

消防学校からの便り

◆ 消防職員初任教育卒業式を挙行政

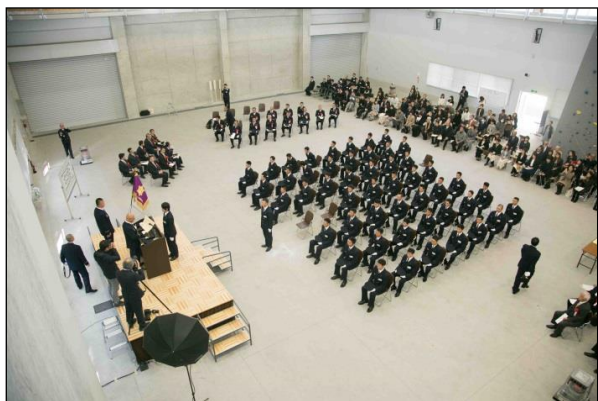
京都府立消防学校（京都）

京都府立消防学校では、平成28年11月11日（金）、初任教育第43期の卒業式を挙行了しました。

卒業の初任教育第43期生は、京都府内12消防本部で採用の52名（内1名は女性）で、平成28年4月6日（水）から約7か月に渡る厳しい教育訓練を受けてきましたが、来賓及び府内全消防長が出席の下、そして多くの卒業生の家族が見守るなか、52名が全員揃って消防学校を巣立っていきました。

卒業生には、消防学校で培った知識と技術を基に更なる研鑽を積み重ね、京都府民の安心・安全のために活躍してくれることを、教職員一同期待しています。

また、京都府立消防学校は昭和51年の開校以来、今年度で1,777名の初任科生を送り出しましたが、平成29年度から府立消防学校を京都市消防学校内に移し、府市消防学校が共同して教育訓練を行うこととしていますので、現府立消防学校での初任教育の卒業式は最後となります。



【校長から一人一人に卒業証書授与の様子】



【答辞を述べる卒業生代表】

報道発表

◆ 避難行動要支援者名簿の作成等に係る取組状況の調査結果（12月6日、消防庁）

災害対策基本法の改正により、市町村による避難行動要支援者名簿の作成、名簿情報の避難支援等関係者への提供等の規定が設けられ、平成26年4月に施行されました。

この度、平成28年4月1日現在における各市町村の取組状況について調査を実施し、結果を取りまとめましたので公表します。

本調査を受け、本日、消防庁及び内閣府では、避難行動要支援者名簿の早期作成、提供を進めるよう通知を発出いたします。

（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/12/281206_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部防災課

担当：田中災害対策官、和田防災企画係長、渡部事務官

◆ 全国瞬時警報システム（Ｊアラート）全国一斉情報伝達訓練の結果（12月9日、消防庁）

11月29日に実施した全国瞬時警報システム（Ｊアラート）の情報伝達訓練の結果を公表します。

本訓練において情報を伝達できなかった団体については、直ちに原因究明、改善等を求めているところであり、これらの団体等を対象に、来年2月に再訓練を実施し、改善を確認する予定です。

1 実施日時

平成28年11月29日（火） 午前11時00分

2 訓練の概況

(1) 概況

① 47都道府県及び1,738市区町村が参加。

② 1,738市区町村のうち、1,577市区町村が実際に防災行政無線等の自動起動を実施し、161市区町村が受信確認のみ実施。

(2) 訓練結果（速報値）

防災行政無線等の自動起動訓練

① 情報を伝達できた団体※ 1,553団体

② 情報を伝達できなかった団体 24団体（別紙（省略）のとおり）

・ Ｊアラート関連機器で不具合があった団体 9団体

（受信機又は自動起動装置の設定誤り等）

・ その他の機器で不具合があった団体 15団体

（無線機器等の故障、メール送信機器の設定誤り等）

※ 1以上の情報伝達手段が自動起動して放送等がなされた団体

3 消防庁の対応

情報を伝達できなかった団体については、直ちに原因究明、改善等を要請。

情報を伝達できなかった団体等を対象に、来年2月に再訓練を実施し、改善を確認する予定。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/12/281209_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部防災課 国民保護室、国民保護運用室
担当：三枝補佐、池町係長、山崎事務官、山田事務官

◆ 「避難支援アプリの機能に関する検討会」の開催（１２月９日、消防庁）

地理に不案内な来訪者等に対し、災害時に適切な避難行動を支援できる「避難支援アプリ」の全国的な普及・整備に向けて、避難支援アプリに必要な機能と防災情報（データ）について検討するとともに、アプリ作成時における課題とアプリ利用上の留意点を整理した上で、「避難支援アプリの作成等に関するガイドライン」を作成することを目的として、「避難支援アプリの機能に関する検討会」を開催しますのでお知らせします。

1 日時（第１回）

平成 28 年 12 月 16 日（金） 10 時 00 分から 12 時 00 分まで

2 場所

全国町村会館 2 階 第 1 会議室（東京都千代田区永田町 1 丁目 11-35）

3 委員

別添（省略）のとおり

4 主な検討項目

- (1) 避難支援アプリに必要な機能
- (2) 機能実現に必要な防災情報（データ）

5 傍聴又は取材に当たっての留意事項

- (1) 傍聴又は取材を希望される場合は、社名、氏名及び連絡先を平成 28 年 12 月 14 日（水）17 時までに電話又はファックスにより下記連絡先まで連絡願います。
- (2) 入室は当日の 9 時 45 分からです。また、カメラ撮影等は検討会冒頭のみに限らせていただきますので、あらかじめ御了承ください。
- (3) 会場の都合上、希望者多数となった場合は入場をお断りさせていただく場合がございます。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/12/281209_houdou_2.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部防災課 防災情報室
担当：明田課長補佐、五通係長

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcj.gr.jp